

新しい公立高等学校入学者選抜制度について(素案)の概要

新たな公立高等学校入学者選抜の在り方 ～中学校・高等学校の学びの円滑な接続に資する入学者選抜を目指して～

現行の入学者選抜制度

前期選抜

【実施時期】
1月下旬
【募集人員】
募集定員の10～30%
【選抜方法】
学力検査3教科(国語・数学・英語)、調査書、志願理由書、学校独自の提出書類、面接等に基づき総合的に判断

一般選抜

【実施時期】
3月上旬
【募集人員】
募集定員の70～90%
【選抜方法】
学力検査5教科(国語・社会・数学・理科・英語)、調査書、面接等に基づいて総合的に判断

2次募集

【実施時期】
3月下旬
【募集人員】
一般選抜で充足していない募集人員
【選抜方法】
調査書、一般選抜の学力検査の成績、面接等に基づいて総合的に判断

現行制度の課題を改善

現行制度の特徴

- 全県一区の通学区にすることにより、全県の中学生が秋田県内全ての高校から希望する高校を選ぶことができる。
- 前期選抜、一般選抜、2次募集と最大3回の受検機会による評価尺度の多元化や、選抜方法の多様化が図られている。

現行制度の課題

- 前期選抜を受検する生徒は、国語・数学・英語の3教科を中心に学習を進め、社会・理科の学習が疎かになる傾向が見られるなど、高校入学後の学習に影響を及ぼす場合がある。また、前期選抜の合格者と不合格者、一般選抜受検者が同じ教室で学習することで、指導上の困難が生じている。
- 中学校、高等学校双方で、前期選抜から2次募集まで入学者選抜業務が切れ目なく続くことから、教育活動に影響を及ぼしている。

新しい入学者選抜制度

1次募集

【実施時期】
3月上旬に特色選抜と一般選抜を同一日に実施

特色選抜

【募集人員】
募集定員の10～50%
【選抜方法】
学力検査5教科(国語・社会・数学・理科・英語)、調査書、志願理由書、学校独自の提出書類、面接等に基づき総合的に判断

一般選抜

【募集人員】
募集定員から特色選抜の募集人員を除いた人数
【選抜方法】
学力検査5教科(国語・社会・数学・理科・英語)、調査書、面接等に基づき総合的に判断

同一の検査問題

2次募集

【実施時期】
3月下旬
【募集人員】
1次募集の合格者を除いた人数
【選抜方法】
調査書、1次募集の学力検査の成績、面接等に基づいて総合的に判断

新しい公立高等学校入学者選抜制度に関する今後の予定

令和5年度入学者(令和2年度中学校1年生)から実施予定

